

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ 「タバコと健康
…あなたはどちらを選びますか？」
- 2 対象 5年児童
- 3 専門医 大竹 修一 医師(放射線科)
- 4 実施月 10月
- 5 内容
自分の人生をより良く生きるために、
タバコの有害性とタバコに縛られない本
当の自由について考えてみる。

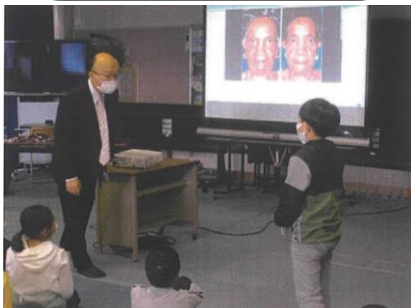


評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- 有効だった
有効でなかった
<その理由>

*自分の自由な選択の一つが、将来の健康や幸せな生活に大きく影響することを意識させようと、自身の選択の重要場面でタバコを吸うか・吸わないかを提起し、有害性だけでなく、将来を見据えた健康増進への意欲づけに大いに効果的だった。



②校内の組織づくりについて

- 有効だった
有効でなかった
<その理由>

*教育課程に沿った5年生の保健体育の教科内容をさらに探究する内容で実施しているので、校内の係分担や日程調整、事前打ち合わせ等、各担当が十分時間をとって準備することができた。



③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- 有効だった
有効でなかった
<その理由>

*実際に病院で肺がん等の診察をしている医師が来校しての指導は、リアルで最新の医学知識が大いに披露され、専門的な説明や写真は、非常に説得力がある。将来自分が直面するかもしれない選択の場面を自分ごととしてとらえ、喫煙防止等に効果を上げながら将来について考えるよい機会となった。

〔受講者の感想など〕

- 電子タバコやタバコを家族が吸っているの、今日学んだ知識を基に COPD や中毒の恐ろしさを教えてやめさせたいという感想が多かった。ニコチンやタバコが20本入りの理由、禁煙外来や吸いながら禁煙できるニコチンパッチやガム、飲み薬の存在等、売る側、買う側それぞれの視点から多くの驚きがあったようだ。

〔教科やその他の指導との関連性〕

- 5年生の保健体育「病気の予防」の教科内容を含めて、全学級一斉に5年生の学級活動の時間で実施している。この内容を6年生の「薬物乱用防止」の指導に繋げ2年間を見越し継続的に実施している。